

都道路計画：見直し住民投票 小平市で告示

毎日新聞 2013年05月16日 東京夕刊

東京都内で初となる住民の直接請求に基づく住民投票が16日、小平市で告示された。投票は都道計画の是非を問う目的で約3000万円の経費がかかるが、市は投票率が50%未満なら開票しないとの成立要件をつけている。有権者数は14万9187人（3月末現在）で、7万票が投じられても「倉庫送り」になるため、市の対応に批判が上がっている。

投票は26日に行われ、投票率が50%に達すれば翌27日午前9時から開票する。府中-東村山市間の都市計画道路「3・2・8号線」（13キロ）のうち、小平市内の約1・4キロを「住民参加で計画を見直す」か「計画の見直しは必要ない」かが問われる。【林奈緒美】